

漆サミット 2024 の開催（第二報）

下記のとおり、11月15日（金）～16日（土）に「国宝・重要文化財の保護に向けた国産漆の持続的生産」と題した漆サミット 2024 を長野県塩尻市で開催します。参加登録をされていない方は10月24日（木）までに参加登録をお願いします。参加を希望される方は10月24日までに「氏名、所属、メールアドレス、電話番号」最下部のQRコードから入力後、送信してください。送信できなかった場合は必要事項を記入し、メール(e-mail: info@urushisummit.jp)か、ファックス(fax: [044-934-7212](tel:044-934-7212))で参加登録をお願いします。ワークショップの定員が50名であり、定員数になりましたら、締め切りさせていただきます。ご了承ください。多数のご参加をお待ちしています。

漆サミット 2024 の開催

テーマ：「国宝・重要文化財の保護に向けた国産漆の持続的生産」

第1日

◇日時：11月15日（金）10:00～16:30（開場：9:30～）

◇場所：中信会館

◇内容

開会挨拶	塩尻市副市長 石坂健一	10:00～10:05
	木曾漆器工業協同組合理事長 小林広幸	10:05～10:10
	日本漆アカデミー会長 田端雅進	10:10～10:15

- (1) 基調講演 10:20～12:20
- ①「国宝・重要文化財の保護に求められる国産漆の特性」
重要無形文化財蒔絵保持者 室瀬和美
 - ②「国産漆の持続的生産を目指したウルシ林の土壌特性」
森林総合研究所東北支所チーム長 小野賢二
- (2) 昼食・ポスター発表(10:00 ポスター掲示、12:30～13:20 コアタイム、13:30
ポスター撤去) 12:30～13:30
- (3) 講演会「国産漆を生かした地方の活性化」 13:40～14:40
- ①「能登半島地震で被災した輪島塗の再生を目指す」
彦十蒔絵代表 若宮隆志
 - ②「木曾漆器ロングセラーー“木曾ひのき箸”を守る取り組みー」
酒井産業株式会社代表取締役社長 酒井慶太郎
- (4) 休憩 14:40～15:00
- (5) 講演会「国産漆を生かした地方の活性化」 15:00～16:00
- ③「欧米の旅行客は漆器などの日本の伝統工芸品のどこに魅力を感じるのか」
True Japan Tour 株式会社 村上堅治
 - ④「会津漆器のブランド力向上に向けた福島県喜多方市の取り組み」
福島県喜多方市産業部農山村振興課主査 小野智弘
- (6) 総合討論 16:00～16:50

(7) 懇親会（事前申し込みが必要・有料）

18:00～20:00

第2日

◇日時：11月16日（土）8:00～16:00

◇場所：塩尻市立檜川小中学校、木曾漆器修復工房

◇内容

8:00 JR 塩尻駅集合

9:00～15:00 ワークショップ「木曾漆器における木地や塗りの特色などを考える」及び
国宝・重要文化財修復工房見学（事前申し込みが必要、定員50名・有料）

16:00 JR 塩尻駅解散

◇主催：日本漆アカデミー

◇後援：塩尻市、木曾漆器工業協同組合、NPO 法人 壺木呂の会

参加登録用 QR コード

